

音楽科 学習指導案

I 題材 拍のまとまりを感じ取ろう

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

曲想と2拍子や3拍子の拍のまとまりとの関わりについての理解
拍のまとまりに合わせた、表したい音楽表現をするために必要な技能

②思考力、判断力、表現力等

2拍子や3拍子の拍のまとまりを聴き取ったり、曲想を感じ取ったりして音楽を捉え、拍のまとまりに合った演奏の仕方を工夫したり、2拍子と3拍子の拍子の違いを味わって聴いたりする力

③学びに向かう力、人間性等

2拍子や3拍子の拍のまとまりに関心を持ち、楽しく感性豊かに音楽に親しむ態度

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

- A 表現 (1) ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。
ウ(ウ) 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能
(2) イ(ア) 曲想と音楽の構造との関わり
ウ(ウ) 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能
- B 鑑賞 (1) イ 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと。
〔共通事項〕 (要素) リズム、拍 (用語) 拍子

(3) 題材の価値

本題材は、2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて体を動かしながら、拍子の違いを感じ取り、聴いたり歌ったり演奏したりする学習である。その価値は以下のとおりである。

拍は一定の間隔をもって刻まれるものであり、音楽が成立する上で非常に重要なものである。拍のまとまりを感じ、拍感を身に付けることは、音楽を単なる音の羅列として捉えるのではなく、小さなまとまりが集まったものとして捉えることにつながり、今後、他の人と音や声を合わせて演奏する際の素地となる。

鑑賞教材曲『トルコ行進曲』は、音楽の授業の片付けの際に流れていることから、子どもたちに身近な2拍子の曲である。強拍に装飾音符が多用されており、強拍の重みやそこへ向かうエネルギー、元気な感じの曲想を感じ取るのに適している。

鑑賞教材曲『メヌエット』は、1拍目に音価の長い音符が使われていることの多い3拍子の曲である。音源は、ピアノによる演奏で音色の重なりが少なく、低音部の音が3拍子の強拍や拍のまとまりを聴き取るのに適している。

表現教材曲『はしの上で』、『たぬきのたいこ』、『かっこう』は、親しみやすく耳に残る旋

律の曲であるため、歌いながら体を動かしやすい。また、繰り返し部分を除く旋律の長さが16小節以下で短く、それぞれの拍子を感じながら、すぐに歌ったり演奏したりすることができる。

2拍子と3拍子は単純拍子であり、様々な拍子の基となる拍子である。2拍子と3拍子の鑑賞の学習を通して、その特徴を意識して聴き取ったり、体を動かしながら体全体で感じ取ったりした後、表現教材曲を3曲扱うことは、鑑賞領域の学習を表現領域の学習につなげ、曲想と拍のまとまりとの関わりについての理解を深めることにつながる。そして、それまでに培ってきた2拍子や3拍子の拍感を感じ取りながら音を合わせて演奏することは、今後、曲や拍子が変わったり、長い曲になったりしても、拍のまとまりに関心を持ち、音や声を合わせて演奏しようとする態度へとつながっていく。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、2年「拍に乗ってあそぼう」で、拍を意識しながら、演奏の仕方を工夫したり、聴いたり音楽表現をしたりする学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、1年「みんなで こえを あわせよう」において、3拍子を感じ取りながら、歌ったり演奏したりしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 曲想と3拍子の感じに合った歌い方とのつながりに気付いてきている。このような子どもたちが曲想と2拍子や3拍子の拍のまとまりとのつながりに気付けるように、拍子をアレンジした範奏と原曲とを比較鑑賞する時間を設定する。

伴奏に合わせて、歌ったり演奏したりしてきている。このような子どもたちが、拍のまとまりに合わせて、歌ったり演奏したりできるように、歌ったり演奏したりしながら手や足を使って拍打ちをする時間を設定する。

② 3拍子を感じ取りながらリズム伴奏の仕方を工夫してきている。このような子どもたちが、2拍子や3拍子の拍に合った体の動かし方や歌い方、演奏の仕方を工夫できるように、強拍と弱拍で円の大きさを変えた図を模造紙にまとめ、掲示する。

3拍子を感じ取りながら聴くことができた。このような子どもたちが、2拍子や3拍子の拍のまとまりを感じ取りながら聴けるように、手拍子や足踏み等、体を動かしながら鑑賞する時間を設定する。

③ 友達と一緒に歌ったり演奏したりして、楽しく学習に取り組んできている。このような子どもたちが、2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて体を動かしながら友達と一緒に楽しく音楽活動に取り組めるように、ペアやグループで、相手を変えながら拍に合わせた手拍子や足踏み等を行う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習（2／9時間目）

- ねらい 2拍子にアレンジした『メヌエット』と原曲とを比較鑑賞することを通して、2拍子と3拍子の拍のまとまりの違いと曲想とのつながりに気付くことができる。
- 準備 CD 学習プリント 前時に学習したことをまとめた模造紙
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 学習に臨む雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に聴いた『トルコ行進曲』は、2拍子の曲で元気に進む感じだな。2曲目も行進したけれど、何だか歩きにくかったな。 <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子の『メヌエット』はゆったりしている感じがするな。2拍子と3拍子で何が違うのかな。 	<p>○拍のまとまりを感じ取りながら、楽しく学習に取り組む気持ちを高められるように、『トルコ行進曲』や、3拍子の『メヌエット』に合わせて、手拍子や足踏み等をするよう促す。</p> <p>○2拍子と3拍子の特徴に対する問題意識をもてるように、手拍子や足踏み等をしながら改めて『メヌエット』を鑑賞する時間を設定し、曲想や拍子を問いかける。</p>
<p>めあて「2拍子と3拍子のちがいを見付けよう」</p>	
<p>3 2拍子と3拍子の曲を鑑賞し、曲想や特徴を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2拍子は1拍目が強いから、1つ目の円を大きくして大小大小の円で表したな。3拍子も同じように、大小小と表すとよいのではないかな。 ・僕は、3拍子の『メヌエット』だとゆったり揺れている感じがして、2拍子だと、元気な感じに聞こえたよ。 ・ペアの子は、3拍子の方をバレエを踊っているように感じたみたいだな。一緒に踊って見たら、揺れる感じだけではなくて、バレエの踊りも合っているな。 ・友達は、2拍子の『メヌエット』から、前に進んでいく感じがしたのだな。確かに2拍子の『メヌエット』なら行進できるね。2拍子だと行進する感じで、3拍子だとゆったりとする感じがするのだな。同じ曲なのに、拍子が2拍子と3拍子で変わると、曲の感じが変わって面白いな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍子が変わると曲の感じが変わるのだな。拍子と曲の感じにはつながりがあるって面白いな。 ・2拍子と3拍子の曲かな。僕たちも、歌ったり演奏したりしてみたいな。 	<p>○2拍子と3拍子の強拍の違いが視覚的に分かりやすくなるように、強拍と弱拍で円の大きさを変えた2拍子の図を提示し、3拍子の図の表し方を問いかける。</p> <p>○拍のまとまりによる曲想の違いに気付けるように、原曲と2拍子にアレンジした『メヌエット』とを比較鑑賞する時間を設定し、それぞれから感じ取ったことをペアで伝え合うよう促す。</p> <p>○体全体で2拍子と3拍子の違いを感じ取れるように、近くの友達と一緒に、体を動かしながら聴くよう促す。</p> <p>○2拍子と3拍子の曲想の捉えを広げられるように、個人で感じ取った曲想を学級全体で共有する時間を設定し、考えを模造紙に書き込む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">◇2拍子と3拍子の拍のまとまりや曲想の違いを感じ取り、拍子と曲想とを結び付けた発言をしたり記述をしたりしている。</p> <p style="text-align: center;"><発言・学習プリント・表現①></p> </div> <p>○拍子と曲想とのつながりの面白さに気付けるように、模造紙に書かれた考えを囲み、線でつながられるものを問いかける。</p> <p>○次時への見通しをもてるように、『はしの上で』と『たぬきのたいこ』を範唱し、それぞれの曲の拍子を問いかける。</p>

指導と評価の計画（全9時間）

目標	2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて体を動かしながら、拍子の違いを感じ取り、聴いたり歌ったり演奏したりする。				
評価規準	(①知識及び技能) 曲想と、2拍子や3拍子の拍のまとまりとの関わりに気付いている。 2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて、歌ったり演奏したりしている。 (②思考力、判断力、表現力等) 2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて、体を動かしながら聴いたり、手拍子の仕方や歌い方を工夫したりしている。 (③主体的に学習に取り組む態度) 2拍子や3拍子の拍のまとまりに合わせて、体を動かしながら友達と一緒に楽しく音楽活動に取り組んでいる。				
教材	ア…【鑑】トルコ行進曲 ベートーベン 作曲 ハ長調 4分の2拍子 イ…【鑑】メヌエット ペツォルト 作曲 ト長調 4分の3拍子 ウ…はしの上で 久野静夫 日本語詞 フランス民謡 ヘ長調 4分の2拍子 エ…たぬきのたいこ 阪田寛夫 作詞 チェコ民謡 ハ長調 4分の3拍子 オ…かっこう 小林純一 日本語詞 ドイツ民謡 ハ長調 4分の3拍子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	ア	○『とんくるりんぱんくるりん』などの既習曲や、『トルコ行進曲』を聴く。	○拍のまとまりに合わせて体を動かしながら聴けるように、拍に合わせた手拍子や足踏み等を、ペアやグループで、相手を変えながら試す活動を設定する。	◇拍のまとまりに合わせて、手拍子や足踏み等の仕方を工夫しながら聴いたり、2拍子の拍のまとまりについて発言・記述をしたりしている。 <発言・記述・表現①②③>
	1	イ	○『トルコ行進曲』や『メヌエット』を聴いて、「2拍子や3拍子を感じながら、歌ったり演奏したりしよう」という題材のめあてをつかむ。(本時)	○2拍子と3拍子での拍のまとまりや曲想の違いに気付けるように、2拍子にアレンジした『メヌエット』と原曲とを比較鑑賞する時間を設定する。	◇2拍子と3拍子の拍のまとまりや曲想の違いを感じ取り、拍子と曲想とを結び付けた発言をしたり記述をしたりしている。 <発言・学習プリント・表現①>
追求する	1	ウ	○『はしの上で』を歌う。	○2拍子に合わせて体を動かしながら歌えるように、強拍に合わせて動きを変えた例示を数種類用意する。	◇2拍子に合わせて手拍子や足踏み等、体を動かしながら歌っている。 <表現①>
	1		○『はしの上で』を、2拍子の拍のまとまりに合わせて体を動かしながら歌う。	○2拍子の強拍を意識して手拍子や足踏み等の仕方や歌い方を工夫できるように、強拍と弱拍で円の大きさを変えた図を掲示する。	◇2拍子に合わせて、手拍子や足踏み等の体の動かし方や、歌い方を変えている。 <表現②>
	1	エ	○『たぬきのたいこ』を歌う。	○3拍子に合わせて体を動かしながら歌えるように、強拍に合わせて動きを変えた例示を数種類用意する。	◇3拍子に合わせて手拍子や足踏み等、体を動かしながら歌っている。 <表現①>
	1		○『たぬきのたいこ』を、3拍子の拍のまとまりに合わせて体を動かしながら歌う。	○3拍子の強拍を意識して手拍子や足踏み等の仕方や歌い方を工夫できるように、手拍子や足踏み等の仕方や歌い方をグループごとに紹介し合う機会を設定する。	◇3拍子に合わせて、手拍子や足踏み等の体の動かし方や、歌い方を変えている。 <表現②>
	1	オ	○『かっこう』を歌う。	○3拍子に合わせ、リズムや休符に気を付けながら歌えるように、拍打ちをしながら歌う活動を設定する。	◇3拍子に合わせて、正しいリズムで歌っている。 <表現①>
	1		○『かっこう』を、鍵盤ハーモニカで演奏する。	○3拍子に合わせ、リズムや休符に気を付けながら鍵盤ハーモニカで演奏できるように、最初と最後の旋律を弾いてリズムを比べる活動を設定する。	◇3拍子に合わせて、正しいリズムで鍵盤ハーモニカで演奏している。 <表現①>
まとめる	1		○『はしの上で』、『たぬきのたいこ』、『かっこう』を歌ったり合奏をしたりする。	○拍のまとまりや曲想を感じ取りながら歌ったり演奏したりできるように、強拍を意識した伴奏に合わせて演奏する時間を設定する。	◇拍のまとまりや曲想に合わせて体を動かしながら、友達と一緒に歌ったり鍵盤ハーモニカで演奏したりしている。 <表現①②③>